

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330222039	特別支援教育論 (2025年度生～)	上島 遥			2	必修	1後期
科目の概要							
通常の学級にも在籍している発達障害や軽度知的障害をはじめとする様々な障害等により特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒が、授業において学習活動に参加している実感・達成感をもちながら学び、生きる力を身に付けていくことができるよう、幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難を理解し、個別の教育的ニーズに対して、他の教員や関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解する (DP3)。そして、社会人として、常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献することができる (DP1・5)。							
学修内容				到達目標			
① 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒について学ぶ。 ② 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の教育課程及び支援方法を学ぶ。 ③ 障がいはないが特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難とその対応を学ぶ。				① 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒について説明できる。 ② 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の教育課程及び支援について説明できる。 ③ 障がいはないが特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難とその対応について説明できる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	障害のある子ども、または特別の教育的ニーズのある子どもが感じている学習上・生活上の困難さについて、自分に置き換えて考えることができる。					
	働きかけ力	グループワークにおいて、他者に対して自分の意見を伝え、積極的に意見交換ができるように働きかけることができる。					
	実行力	自ら考えた支援をロールプレイの中で行い、検討することができる。					
考え抜く力	課題発見力	幼児、児童及び生徒やその保護者のニーズが理解できるようになる。					
	計画力	計画的に学修をすすめることができる。					
	創造力	学びを基に、幼児、児童及び生徒やその保護者の個別のニーズを踏まえ、より良い支援を考えることできる。					
チームで働く力	発信力	他の教員や他職種に伝えることを想定して、障害の特徴や支援方法などが説明できる。					
	傾聴力	他の人の話や意見を素直に聞いたり、共感しながら思いを受け止めたりすることができる。					
	柔軟性	グループディスカッションにおいて、他者の意見をひろく受け入れ、自分の考えを膨らませることができる。					
	状況把握力	グループディスカッションにおいて、活発な意見交換ができるように、自身の役割に気づくことができる。					
	規律性	なぜ授業のルール遵守が大事なのかを考え、ルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力	自分の感じ方や考え方の傾向を把握し、自己覚知を深めることができる。					
テキスト及び参考文献							
テキスト：後日提示 参考文献：幼稚園・小学校学習指導要領解説 「インクルーシブ教育システム」(NISE学びラボ特別支援教育eラーニング：国立特別支援教育総合研究所) https://labo.nise.go.jp/Elearning/View/Course/P_CourseList.aspx?level=1&code=100							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：「特別支援教育論」は、専門科目に位置づいており、教育心理学、教職入門の学びをふまえている。さらに、2年次以降の教育原理、ボランティア体験(介護等体験実習)、学校インターンシップⅠⅡ、教育相談、教育実習指導、教育実習、思春期の心理学、カウンセリング実践論、教職実践演習の学修に繋がるものである。 資格との関連：幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状							
学修上の助言				受講生とのルール			
<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から、特別支援教育に関するニュースに目を通すようにする。 ・授業の解説の中で大切だと思うことをメモする習慣をつける。 ・配布したプリントや資料はノート等にまとめておく。 				<ul style="list-style-type: none"> ・提出物は丁寧に書き、期日を守る。また、授業に関係のない私語、スマホ等は慎み、積極的に参加する。 ・免許取得に必要な科目であり、授業には必ず出席する。やむを得ず欠席、遅刻・早退する場合は、本学の学則に則って判断する。 			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	70	①	✓	① 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒について説明できているか。 ② 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の教育課程及び支援について理解できているか。 ③ 障がいはないが特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難とその対応を説明できているか。 ・知識の獲得（障害の特性）50％ ・知識の活用（障害に応じた支援方法を挙げる）30％ ・知識の解決（事例に合わせて支援方法を検討できる）20％	
				②	✓		
				③	✓		
	学修成果	小テスト		20	①	✓	①特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の支援ニーズについて理解できている。 ②特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の個別の教育的ニーズに対応した教育課程及び支援について説明することができているか。 ③障がいはないが特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難とその対応について説明できているか。 ・知識の獲得（障害の特性）50％ ・知識の活用（障害に応じた支援方法を挙げる）30％ ・知識の解決（事例に合わせて支援方法を検討できる）20％
					②	✓	
					③	✓	
		レポート		0	①		
					②		
③							
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			0	①			
				②			
	③						
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓	（主体性）自分事として障害とその支援について考えることができる。 （実行力）自ら考えた支援をロールプレイの中で行い、検討することができる。 （課題発見力）幼児、児童及び生徒やその保護者のニーズが理解できるようになる。 （創造力）学びを基に、幼児、児童及び生徒やその保護者の個別のニーズを踏まえ、より良い支援を考えることができる。 （発信力）他の教員や他職種に伝えることを想定して、障害の特徴や支援方法などが説明できる。 （傾聴力）他の人の話や意見を素直に聞いたり、共感しながら思いを受け止めたりすることができる。 （規律性）なぜ授業のルール遵守が大事なのかを考え、ルールを守ることができる。	
				②	✓		
				③	✓		
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
① 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒が説明できる。 ② 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の教育課程及び支援が実践できる。 ③ 障がいはないが特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難とその対応を説明できる。 ※総合評価90点以上はS（秀）、89～80点をA（優）とする	① 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒が説明できる。 ② 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の教育課程及び支援が実践できる。 ③ 障がいはないが特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難とその対応を説明できる。 ※総合評価79～70点をB（良）、69～60点をC（可）

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・オリエンテーション(科目の概要や達成目標、評価方法について) ・特別支援教育の理念について(ノーマライゼーション、インクルーシブ教育)	・講義 ・ペアワーク ・Googleclassroomにて確認テスト及びリアクションペーパー提出	ノーマライゼーション、インクルーシブ教育について説明できる。	(予習) シラバスを読み、講義の内容を理解する (復習) 身の回りのユニバーサルデザイン、アクセシビリティを調べる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	障害児支援の歴史と基本理念(ICFの理解)	・リアクションペーパーのフィードバック ・講義 ・ペアワーク、ロールプレイ ・Googleclassroomにて確認テスト及びリアクションペーパー提出	ICFについて理解し、具体的な例をもって説明ができる。	(予習) テキストを読んでおく (復習) ICFについて具体的に説明できるようにする	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	特別な支援や配慮を要する子どものライフステージと保護者への心理的な支援(障害の理解と受容)	・リアクションペーパーのフィードバック ・講義 ・DVD視聴 ・Googleclassroomにて確認テスト及びリアクションペーパー提出	障害受容について理解し、必要な支援について考えることができる。	(予習) 「障害受容」について調べる (復習) 保護者への必要な心理的な支援についてまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	発達障害児(ASD)への理解と支援	・リアクションペーパーのフィードバック ・講義 ・ペアワーク ・Googleclassroomにて確認テスト及びリアクションペーパー提出	発達障害(ASD)の特性について理解し、発達障害(ASD)児への教育における支援について説明できる。	(予習) 発達障害(ASD)について調べる。 (復習) 発達障害のある児童及び生徒の発達、心理的特性、学習上・生活上の困難および教育的支援についてまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	発達障害児(ADHD, LD)への理解と支援	・リアクションペーパーのフィードバック ・講義 ・ペアワーク ・Googleclassroomにて確認テスト及びリアクションペーパー提出	発達障害(ADHD, LD)の特性について理解し、発達障害(ADHD, LD)児への教育における支援について説明できる。	(予習) 発達障害(ADHD, LD)について調べる。 (復習) 発達障害(ADHD, LD)のある児童及び生徒に対する発達、心理的特性、学習上・生活上の困難および教育的支援方法についてまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	知的障害児への理解と支援	・リアクションペーパーのフィードバック ・講義 ・ペアワーク ・Googleclassroomにて確認テスト及びリアクションペーパー提出	知的障害の特性について理解し、知的障害児への教育における支援について説明できる。	(予習) 知的障害について調べる (復習) 知的障害のある児童及び生徒の発達、心理的特性、学習上・生活上の困難および教育的支援についてまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	肢体不自由児への理解と支援	・リアクションペーパーのフィードバック ・講義 ・ペアワーク ・Googleclassroomにて確認テスト及びリアクションペーパー提出	肢体不自由児の特性について理解し、肢体不自由児への教育における支援について説明できる。	(予習) 肢体不自由について調べる。 (復習) 肢体不自由のある子どもの発達、心理的特性、学習上・生活上の困難および教育的支援についてまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	病弱・身体虚弱児への理解と支援	・リアクションペーパーのフィードバック ・講義 ・ペアワーク ・Googleclassroomにて確認テスト及びリアクションペーパー提出	病弱・身体虚弱児について理解し、病弱・身体虚弱児への教育における支援について説明できる。	(予習) 病弱・身体虚弱児について調べる。 (復習) 病弱・身体虚弱の子どもの発達、心理的特性、学習上・生活上の困難および教育的支援についてまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	視覚障害児への理解と支援	<ul style="list-style-type: none"> ・リアクションペーパーのフィードバック ・講義 ・ペアワーク ・Googleclassroomにて確認テスト及びリアクションペーパー提出 	視覚障害について理解し、視覚障害児への教育における支援について説明できる。	(予習) 視覚障害について調べる (復習) 視覚障害ある子どもの発達・心理的特性、学習上・生活上の困難および教育的支援についてまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	聴覚障害児への理解と支援	<ul style="list-style-type: none"> ・リアクションペーパーのフィードバック ・講義 ・ペアワーク ・Googleclassroomにて確認テスト及びリアクションペーパー提出 	聴覚障害について理解し、聴覚障害児への教育における支援について説明できる。	(予習) 聴覚障害について調べる (復習) 聴覚障害のある子どもの発達・心理的特性、学習上・生活上の困難および教育的支援についてまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	情緒障害児への理解と支援	<ul style="list-style-type: none"> ・リアクションペーパーのフィードバック ・講義 ・ペアワーク ・Googleclassroomにて確認テスト及びリアクションペーパー提出 	情緒障害について理解し、情緒障害児への教育における支援について説明できる。	(予習) 情緒障害について調べる (復習) 情緒障害のある子どもの発達・心理的特性、学習上・知識津城の困難および教育的支援についてまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	個別の教育支援計画と個別の指導計画について	<ul style="list-style-type: none"> ・リアクションペーパーのフィードバック ・講義 ・ペアワーク、ロールプレイ ・Googleclassroomにて確認テスト及びリアクションペーパー提出 	個別の教育支援計画と個別の指導計画の作成する意義や具体的な内容を理解し、説明できる。また、事例について計画を作成することができる。	(予習) 個別の教育支援計画と個別の指導計画の違いを調べる (復習) 事例について個別の教育支援計画を作成する	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
13	障害はないが特別の教育的ニーズのある幼児、児童及び生徒の学習上又は生活上の困難や組織的な対応の必要性を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・リアクションペーパーのフィードバック ・講義 ・ペアワーク ・Googleclassroomにて確認テスト及びリアクションペーパー提出 	母国語が異なる児童及び生徒の学習上又は生活上の困難や組織的な対応の必要性を理解できる。貧困が背景にある児及び児童の学習上・生活上の困難と教育的支援および組織的な対応の必要性について学ぶ。	(予習) 母国語が異なる子どもの現状を調べる。 (復習) 母国語が異なる児童及び生徒の学習上又は生活上の困難や組織的な対応の必要性をまとめる。貧困が背景にある児及び児童の学習上・生活上の困難と教育的支援および組織的な対応の必要性についてまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	関係機関（他職種連携）や保護者との連携について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・オンデマンド ・Googleclassroomにて配信される資料を読み、課題を提出する。 	特別支援教育に関わる専門職の連携の必要性について理解でき、特別支援教育コーディネーターの役割について説明できる。	(予習) 関係機関について調べる (復習) 他職種との連携や保護者との連携についてまとめる。自分の住んでいる地域における機関連携について調べ、まとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	障害児や特別な支援・配慮を要する子どもに関する現状と課題のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・リアクションペーパーのフィードバック ・講義 ・グループワーク ・Googleclassroomにて確認テスト及びリアクションペーパー提出 	障害児や特別な支援・配慮を要する子どもに関する現状と課題について理解し、説明できる。	(予習) 14回目までのノート・プリント等を振り返る (復習) 筆記試験に向かうための総復習を行う	180	主体性 働きかけ力 実行力 計画力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力